

市長マニフェスト 主な取組状況 (令和3年10月現在)

マニフェスト	ページ
I 新型コロナから市民のいのち、暮らし、しごとを守る。	
1. 徹底した感染防止対策と、経済対策とを両立させる。	1
II 鹿児島に稼げる仕事をつくる。	
2. コロナ後に対応できる、新しい産業・仕事をつくる。	2
3. 世界から観光客を集める・国際都市KAGOSHIMAをつくる。	3
4. ICTを活用しもっと住みよい鹿児島をつくる。	5
III 全ての人に、希望とチャンス。安心して生活できる鹿児島をつくる。	
5. 安心できる子育て環境をつくる。	6
6. 稼げる力。「たくましい鹿児島の子」をつくる。	7
7. 人生100年時代。「持続可能な」生きがいにあふれる福祉。	8
IV 人口減少時代に生き残る鹿児島をつくる。	
8. 「持続可能」なまちづくり。「持続可能」なくみづくり。	9
9. 現在そして将来の課題に今から対応できる鹿児島をつくる。	10
10. 新しい時代。民間のチカラを活かし、「これから」の鹿児島市政をつくる。	11

I 新型コロナから市民のいのち、くらし、しごとを守る。

1 徹底した感染防止対策と、経済対策とを両立させる。

- No1 新型コロナから市民のいのちを守ります。
- No2 新型コロナから医療・介護・障害福祉従事者等を守ります。
- No3 新型コロナから地域経済を守ります。
- No4 コロナ後の地域経済ビジョンを策定します。
- No5 市長給与を50%カットします。

- PCR検査体制を拡充 (No.1)
- 子育て支援施設、保育所等への感染症対策を実施 (No.1)
- 離職者等へ住居確保給付金を支給 (No.1)
- 障害福祉サービス事業所へ衛生用品を配布 (No.2)
- コロナ対策関係者会議を開催 (No.3)
- 事業継続を下支えする支援金を給付 (No.3)
- ECサイト・ホームページの立ち上げ等に対し助成 (No.3)
- 体験型観光メニューの充実に向けてお試しクーポンを発行 (No.3)
- コロナ後の地域経済ビジョン策定に向けた取組 (No.4)
- 市長の給料の特例に関する条例を制定 (No.5)



コロナ対策関係者会議 (No3)



体験型観光メニュー (人力車) (No3)



ワクチン接種 (No1)

II 鹿児島に稼げる仕事をつくる。

2 コロナ後に対応できる、新しい産業・仕事をつくる。

No6 中小企業振興を推進します。

No7 中小企業振興基本条例を制定します。

No8 積極的な起業支援

No9 戦略的な企業誘致に取り組みます。

No10 生産性を上げて、賃金を増やします。

No11 出身者は鹿児島市の宝！連携強化を進めます。

No12 スマート農業を強力に推進します。

No13 「稼げる農業」実現へ、農地の有効活用を進めます。

No14 「稼げる林業」づくりに取り組みます。

No15 「稼げる水産業」づくりに取り組みます。

No16 鳥獣被害対策を進めます。

- 新たな事業展開に取り組む市内企業の事業化を支援 (No.6)
- 就職氷河期世代を対象としたキャリアアップセミナーを開催 (No.6)
- 中小企業振興基本条例制定に向けた取組 (No.7)
- 新規創業者等に対し相談・支援を実施 (No.8)
- 創業支援資金を利用した事業者に対する利子補給を実施 (No.8)
- 企業誘致に向け企業訪問活動やPR活動等を実施 (No.9)
- 中小企業の知的財産権取得等に対し補助 (No.10)
- 関係人口創出講座をオンラインで実施 (No.11)
- 畜産ICT機器の導入を支援 (No.12)
- 市内産農林水産物の6次産業化を支援 (No.13)
- 農地の貸し借りの円滑化を支援 (No.13)
- 木材生産の低コスト化や高付加価値化等を支援 (No.14)
- 各種商談会に参加、国内外バイヤーを招へい (No.15)
- 電気柵等の導入や有害鳥獣捕獲活動に対し支援 (No.16)



キャリアアップセミナー (No6)



関係人口創出講座 (No11)



畜産ICT機器導入支援 (No12)

3 世界から観光客を集める・国際都市KAGOSHIMAをつくる。

No.17 クルーズ船の経済効果を高めます。

No.18 市民総ぐるみで国体・全国障害者スポーツ大会を盛り上げます。

No.19 障害のある人も、ない人も、安心して周遊できる「ユニバーサルツーリズム」先進県をつくります。

No.20 ネットを活用した、多言語対応の観光誘客

No.21 鹿児島市在住経験外国人のネットワークを構築します。

No.22 インバウンド対応の人材育成

No.23 国際会議・各種大会の誘致を進めます。

No.24 イスラム教徒向け「ハラール」など、各地域に合った誘客を推進します。

No.25 体験型観光を進めます。

No.26 伝統的工芸品振興

No.27 鹿児島市を舞台としたコンテンツの制作振興

No.28 観光資源となる「稼げる」スタジアム整備

No.29 プロスポーツ等のホームゲームの盛り上がりをつくります。

No.30 スポーツ合宿の誘致

No.31 市電延伸の検討を進めます。

No.32 磯新駅の整備

No.33 水上交通の整備を検討します。

No.34 リバーサイドの整備

No.35 eSportsの振興

- ・新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインを作成（No.17）
- ・2023年特別国体・特別全国障害者スポーツ大会に向け、PR動画の作成及び、ロゴマークをリニューアル（No.18）
- ・ユニバーサルツーリズムの先進事例等を調査（No.19）
- ・かごしま市観光ナビ、パンフレット等を多言語で提供（No.20）
- ・帰国する留学生等をフレンドシップパートナーとして委嘱（No.21）

- 海外観光客に対応するための人材育成研修を実施 (No.22)
- 鹿児島観光コンベンション協会と連携したMICE誘致を実施 (No.23)
- 海外観光客の特性やニーズを調査 (No.24)
- 桜島・錦江湾ジオパークにおいて体験プログラムを提供 (No.25)
- 伝統的工芸品産業の活路開拓事業に対する経費を補助 (No.26)
- 映像制作者の撮影許可申請手続き等の支援を実施 (No.27)
- サッカー等スタジアムの規模や機能等の調査分析を実施 (No.28)
- 鹿児島ユナイテッドFCトレーニング施設の整備を支援 (No.29)
- 東京オリンピックラグビー南アフリカチームの事前合宿を受入 (No.30)
- 路面電車観光路線の新設に向けた取組 (No.31)
- 磯新駅設置協議会等と連携した磯新駅整備に向けた取組 (No.32)
- 水上交通の整備等の検討 (No.33)



ラグビー南アフリカチーム (No30)



フレンドシップパートナー (No21)



桜島・錦江湾ジオパーク体験プログラム (No25)

4 ICTを活用しもっと住みよい鹿児島をつくる。

No36 ICT関連産業振興に取り組みます。

No37 新たな技術を、政策に積極的に取り入れます。(DXの推進)

No38 行政手続のデジタル化を進めます。

No39 テレワークを行う企業の誘致に取り組みます。

- ・ 企業訪問活動やPR活動等を実施 (No.36)
- ・ 窓口音声認識システムを導入 (No.37)
- ・ 3年7月証明書発行等手数料の支払いにキャッシュレス決済を導入 (No.37)
- ・ 乳幼児の成長記録等ができる母子健康手帳アプリを導入 (No.37)
- ・ タブレット端末によるオンライン保健指導を実施 (No.37)
- ・ 相談等業務のオンライン化を実施 (No.37・38)
- ・ 電子申請システムを活用した手続きのオンライン化を実施 (No.37・38)



キャッシュレス決済 (No37)



母子健康手帳アプリ「まぐまっこ」 (No37)

Ⅲ 全ての人に、希望とチャンス。 安心して生活できる鹿児島をつくる。

5

安心して子育て環境をつくる。

No40 待機児童ゼロを実現します。

No41 保育士の確保策を講じます。

No42 地域子育て支援センターの充実強化

No43 病児保育体制の整備

No44 児童相談所の早期整備と機能充実

No45 こども医療費の負担軽減

No46 子どもを産み・育てる親に寄り添う取り組みを進めます。

No47 「貧困の連鎖」を防ぐために取り組みます。

No48 発達障害の療育支援を行います

No49 スクールロイヤールの導入を図ります。

No50 通学路の安全確保

- ・ 保育所等に勤務する者の保育士資格の取得を支援 (No.40)
- ・ 児童クラブの整備、民間設置児童クラブへの補助を実施 (No.40)
- ・ 保育士・保育所支援センターを運営 (No.41)
- ・ 地域子育て支援センターの利用者からの意見を聴取 (No.42)
- ・ 病児・病後児保育事業を実施 (No.43)
- ・ 3年6月児童相談所等複合施設検討委員会を設置・開催 (No.44)
- ・ 3年4月こども医療費の窓口負担をなくす制度の対象を拡充 (No.45)
- ・ 産後ケア事業の対象を3か月以内から1年未満に拡充 (No.46)
- ・ すこやか子育て交流館、親子つどいの広場を運営 (No.46)
- ・ 地域での育児相談や自主グループの育成を実施 (No.46)
- ・ 家庭での学習が困難な小・中学生を対象とした学習会を実施 (No.47)
- ・ 障害児通所支援等を提供 (No.48)
- ・ 通学路において歩道整備やカラー舗装を実施 (No. 50)



保育士・保育所支援センター (No41)



児童相談所等複合施設検討委員会 (No44)



西部親子つどいの広場 (いしきらら) (No46)

6 稼げる力。「たくましい鹿児島の子」をつくる。

№51 キャリア教育の充実を図ります。

№52 IT関連教育を推進します。

№53 教育に、IT・インターネットを積極的に活用します。

№54 青少年の海外派遣、留学支援を広く行います。

№55 「外国人の友達を作ろう！」

№56 市立高校の振興と環境整備を図ります。

- 地域の人材や外部講師等による授業を実施（No.51）
- G I G Aスクール構想に必要な I C T 機器を整備（No.52・53）
- 在住外国人との交流イベント等を実施（No.55）
- 市立3高校を指定して寄附する制度を創設（No.56）



I C T を活用した授業（No52・53）



在住外国人との交流イベント（No55）

7 人生100年時代。「持続可能な」生きがいにあふれる福祉。

№57 疾病予防・介護予防の促進

№58 健康診断受診率を向上させます。

№59 認知症を早期発見・早期治療できる仕組みを整備します。

№60 重度心身障害者等医療費制度の手続を簡素化します。

№61 障害者就労施設等への発注

№62 手話言語条例の制定

№63 バリアフリー化の推進

№64 高齢者の生きがい就労

- ・医療・介護・健診データ分析による個別的支援を実施（No.57）
- ・ボランティア活動や健康診査の受診に対しポイントを付与（No.57）
- ・よかよか体操やらくらく体操等の介護予防活動を推進（No.57）
- ・がん検診と特定健康診査等の同時受診や休日・夕方検診を実施（No.58）
- ・国保被保険者への特定健康診査を実施（No.58）
- ・認知症やその疑いにより行方不明となった高齢者等の早期発見のため、新たに市公式LINEを活用して情報を配信（No.59）
- ・認知症啓発パネル展を開催（No.59）
- ・認知症サポーター養成講座や認知症介護教室等を実施（No.59）
- ・重度心身障害者等医療制度の手続き簡素化を県に要望（No.60）
- ・ナイスハートカフェ運営への支援を実施（No.61）
- ・学校、公民館等のバリアフリー化を実施（No.63）
- ・シルバー人材センターの運営に要する経費等を助成（No.64）



よかよか体操（No.57）



認知症サポーター養成講座（No.59）



ナイスハートカフェ（No.61）

IV 人口減少時代に生き残る鹿児島をつくる。

8 「持続可能」なまちづくり。「持続可能」なくみづくり。

№65 「持続可能性」を重視しSDGsの取り組みを進めます。

№66 環境と調和した再生可能エネルギーの開発・活用を進めます。

№67 避難所等における再生可能エネルギーの活用

№68 リサイクルの促進

№69 公共交通機関の利便性向上

№70 在来線の利用促進を図ります。

№71 空き家の有効活用を進めます。

№72 既存集落の過疎化対策に取り組みます。

№73 計画的なインフラ補修

- ・かごしまSDGs推進パートナーを募集・登録（No.65）
- ・新南部清掃工場の稼働に向けた工事を実施（No.66・68）
- ・市役所で使用する電力のゼロカーボン電力への切替を実施（No.66）
- ・古紙リサイクル啓発のテレビCM放送を実施（No.68）
- ・プラスチック削減に資するワークショップ等を開催（No.68）
- ・3年3月に鹿児島駅前停留場を整備（No.69）
- ・本市が参画する協議会において、在来線の利用促進策を検討・実施（No.70）
- ・空家活用アドバイザーを派遣、空家リフォーム補助を実施（No.71）
- ・市街化調整区域等における各種施設の運営やイベントを実施（No.72）
- ・公園施設長寿命化計画に基づいた施設の改築・更新を実施（No.73）
- ・道路ストックの長寿命化修繕計画等に基づいた修繕を実施（No.73）



新南部清掃工場（No66・68）



古紙リサイクルの啓発（No68）



空家活用アドバイザーの派遣により住宅をこども食堂とした事例（No71）

9 現在そして将来の課題に今から対応できる鹿児島をつくる。

No74 動物殺処分ゼロを目指します。

No75 同性パートナーシップ

No76 合併地域の均衡ある発展に向けた取り組み

No77 様々な状況に合わせた、避難所の質の確保

No78 学校のトイレ洋式化

No79 新たな総合体育館に関する連携・協力

No80 地籍調査を強力的に推進します。

No81 団地再生を推進します。

No82 洪水ハザードマップの整備

No83 公文書管理条例を制定します。

No84 男女共同参画を推進します。

No85 防災会議の機能をより高め、市民の生命と財産を守ります。

No86 土地区画整理事業の推進

No87 多文化共生社会の構築

No88 投票率向上に取り組みます

- ・新たにミルクボランティアへ幼齢猫を譲渡する事業を実施 (No.74)
- ・性の多様性理解促進パンフレット、ポスターを作成 (No.75)
- ・備蓄物資の数量点検、入替を実施 (No.77)
- ・市立学校のトイレの洋式化を実施 (No.78)
- ・紫原団地の地籍調査に着手 (No.80)
- ・3年3月にかごしま団地みらい創造プランを策定 (No.81)
- ・防災ガイドマップの作成、全戸配布を実施 (No.82)
- ・公文書管理条例制定に向けた取組 (No.83)
- ・男女共同参画審議会、DV防止対策委員会等を開催 (No.84)
- ・防災会議における各分野の専門家へ委員を委嘱 (No.85)
- ・田上小学校周辺における土地区画整理事業に係る調査・検討 (No.86)
- ・3年6月に市ホームページに自動翻訳を導入 (No.87)
- ・若者と政治や選挙を語る会を実施 (No.88)



性の多様性理解促進ポスター (No75)



防災ガイドマップ (No82)



若者と政治や選挙を語る会 (No88)

10 新しい時代。民間のチカラを活かし、“これから”の鹿児島市政をつくる。

No89 データに基づく政策立案（EBPM）を推進します

No90 事業の見直しを進めます

No91 政策評価を充実させます。

No92 公契約の適正化を進めます。

No93 民間との公平な競争環境

No94 ふるさと納税を集める取り組みを進めます。

No95 ネーミングライツ等の積極的活用

No96 市政の情報公開を進めます。

No97 市民の声を聞く機会を増やします。

No98 鹿児島市内全域で、市政報告会を開催します。

No99 官民連携プラットフォーム

No100 民間人材の積極的登用

- E B P M研修会を開催（No.89）
- 行政評価へのE B P M導入を試行的に実施（No.90・91）
- 最低制限価格制度の実施等による公契約の適正化（No.92）
- 指定管理者制度の効果的な運用（No.93）
- 首都圏の市政関係者を中心に返礼品無しの寄附を募集（No.94）
- 市有施設におけるネーミングライツの活用（No.95）
- 市ホームページのアクセシビリティ向上の取組を実施（No.96）
- オープンデータの項目数を拡充（No.96）
- まちかどコメンテーターの人数、回数等を拡充（No.97）
- 中学校区ごとに「市長と語る会」を開催（No.98）
- 3年9月民間知見活用プラットフォームを設置（No.99）
- C I O補佐官など民間企業での職務経験者を登用（No.100）



ふるさと納税ポータルサイト（No94）



市長と語る会（No98）